取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

赤外線コードレス
会議マイクユニット
ATCS-M65

audio-technica®

V1.0

＜目 次＞

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠ 警告

●指定の AC アダプター、バッテリー以外は使用しない
事故や火災の原因になります。

●異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く、またはバッテリーを取り外し、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。

●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。

●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。

●本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。

●布でおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。

●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

⚠ 注意

●不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。

●火気に近付けない
変形、故障の原因になります。

●ベンジンや、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

AC アダプターについて

⚠ 警告

●本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。

●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。

●コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。

●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。

●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。

●コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。

●分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。

●布などでおおわない
過熱による火災など事故の原因になります。

●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。

●ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

⚠ 注意

●長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。

●足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。

●通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。

電池について

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
■液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
■万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
■皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
■炎天下の車内
■ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。

●指定の充電器以外で充電しない
故障や火災の原因になります。

●変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

⚠警告

●幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の（+）（−）を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠注意

●保管、廃棄の場合は端子 (金属部分) をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

●指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

Li-ion

使用済みのバッテリーは、産業廃棄物として処理するか当社サービス(下記)へお送りください。
なお、送料はお客様ご負担とさせていただきます。

○送り先
〒915−0003　福井県越前市戸谷町87−1
株式会社テクニカフクイ　サービス課　宛
TEL:0778−25−6736

使用上の注意

●マイク部分のみを持ち上げないでください。必ず本体をお持ちください。
●マイクのフレキシブル部分はゆっくり曲げ伸ばしてください。過大な力で曲げないでください。
●机などから落下しないようにご注意ください。
●長期間使用しないときはバッテリーを外してください。
●バッテリーは専用のリチウムイオン電池をご使用ください。
●赤外線受発光部分をおおわないでください。
●バッテリーを外して再びセットするときは、電源LEDが点灯することを確認してください。
●マイクユニットの電源スイッチをONにしたまま長時間放置しバッテリーが過放電の状態になると、バッテリーが劣化し使用不能になる場合もありますのでご注意ください。

⚠設置上の注意

●直射日光・白熱灯・ハロゲンランプ・インバーター式蛍光灯・プラズマディスプレイなどの、赤外線発光物の近くに、受発光ユニットおよびマイクユニットを設置しないでください。到達距離とは無関係にノイズが発生する場合があります。その場合には適切な場所に受発光ユニットおよびマイクユニットを設置してください。
●マイクユニットの周辺に障害となる物を置かないでください。

1. 機能

1.1. 発言機能

発言

TALK(発言) ボタン押下にて発言 ON/OFF 動作を行ないます。
(オートマチックモードはありません。マスターコントロールユニット、または会議マネージャー使用時にオートマチックモード設定時でも TALK ボタン押下にて発言 ON/OFF 動作を行ないます。)

発言モード

同時に発言できる人数は 1 ～ 5 人の間で設定できます。
プライオリティ (優先発言) の人数は、0 ～ 4 人の間で設定できます。
先押し・後押し優先の設定ができます。（マスターコントロールユニット、会議マネージャー機能がマニュアルモード設定時のみ有効です。）

・先押し優先：設定人数になるまで発言許可され、設定人数を超えると発言待ちになります。
優先されたマイクの発言が終了したら、要求した順にマイクが発言許可されます。
要求人数は 10 人まで可能です。

・後押し優先：発言要求が設定人数を超えると、発言者のうち最初に発言許可されたマイクの発言が終了し、後から発言要求を行なったマイクの発言が可能になります。

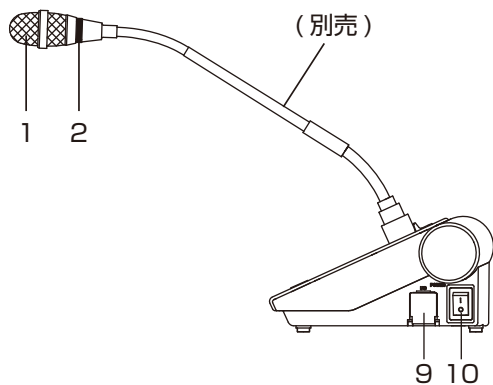
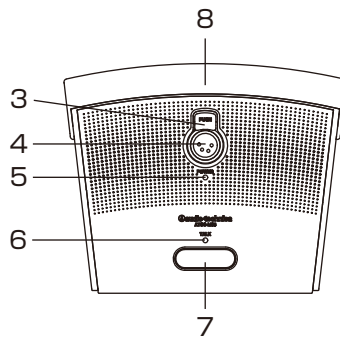
1.2. 表示機能

バッテリー残量表示

バッテリー残量が低下すると、ライトリング LED と電源 LED が点滅してお知らせします。

発言要求

発言要求中のマイクは、ライトリング LED と TALK(発言)LED が点滅してお知らせします。

1.3. マイクユニットの各部の名称と機能

＜マイクユニット側面図＞　＜マイクユニット本体 (上面図)＞　＜マイクユニット本体 (底面図)＞

1. マイク　・・・・・発言時に使用します。

2. ライトリング LED　・・・・・発言中に点灯、発言要求時・バッテリー低下時に点滅します。
また電源 ON 時、動作可能になるまでの間点滅します。

3. マイク脱着ボタン　・・・・・このボタンを押しながらマイクを取り外します。

4. マイク取付ソケット　・・・・・専用マイク取付用のソケットです。

5. 電源 LED　・・・・・電源 ON 時点灯、バッテリー低下時に点滅します。

6. TALK(発言) LED　・・・・・発言中に LED が点灯します。発言要求時に点滅します。

7. TALK(発言) ボタン　・・・・・発言要求時や発言終了時にボタンを押します。

8. 赤外線受発光部　・・・・・赤外線送受信を行ないます。
物などで受発光部をふさがないようにお願いします。

9. I/O 端子　・・・・・別売の投票モジュール (ATCS-V60) を接続します。

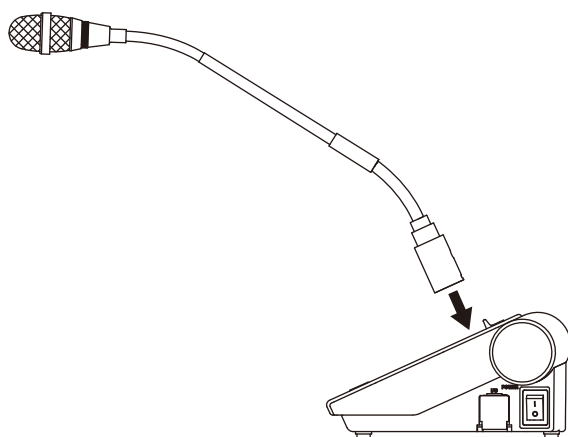
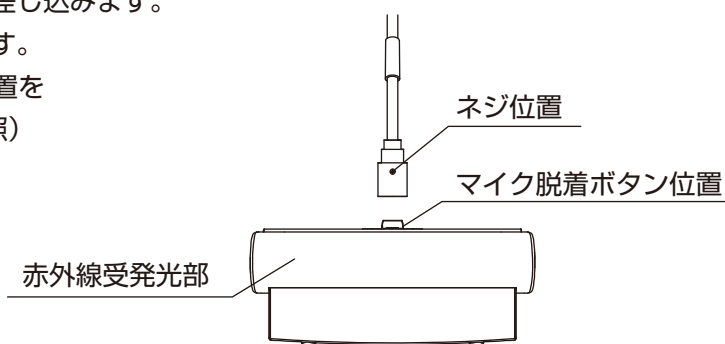
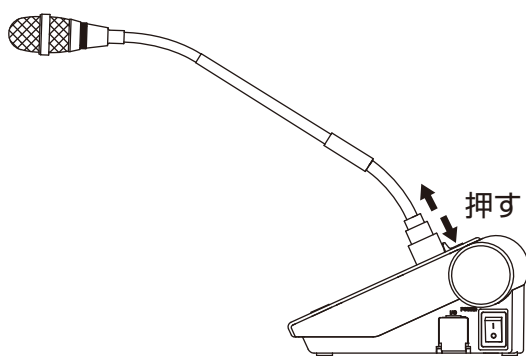
10. 電源スイッチ　・・・・・電源の ON/OFF を行ないます。
電源を入れるときには、先にマイクユニットの電源を ON にした後、マスターコントロールユニットの電源を ON にしてください。マイクユニットの電源を後から入れた場合、動作可能になるまで 1 分間かかります。TALK(発言）ボタンを押しながら電源を ON にすると動作可能になるまでの時間が約 1 秒に短縮されます。

11. 発光強度切換スイッチ　・・・・・赤外線送信の強度を切り換えます。（LO⇔NORMAL）
基本は NORMAL にて使用します。狭い部屋などでは、LO にすることで使用時間を長くすることができます。

12. ID 設定スイッチ　・・・・・ID 番号の設定を行ないます。
(ID 番号の設定方法はＰ10 参照）

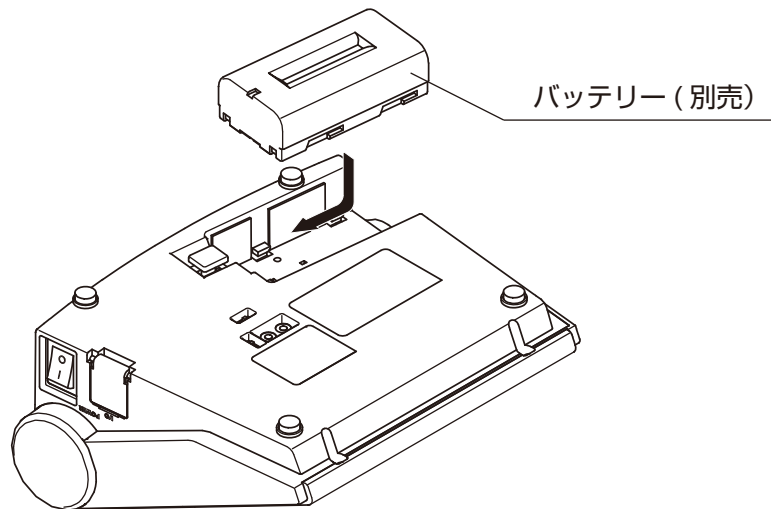
13. バッテリー脱着ボタン　・・・・・バッテリーの取り外し時に使用します。
(取り外し方法はＰ8 参照）

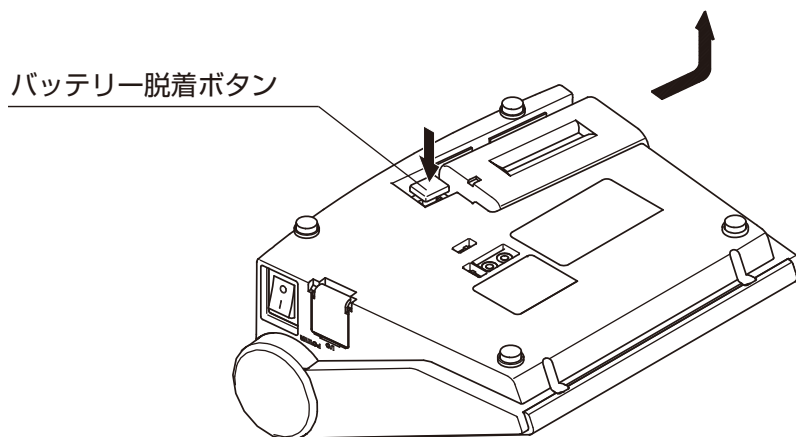
1.4. マイクの取り付け、取り外し方法

＜マイク取り付け方法＞

1. マイクをマイク取付ソケットにまっすぐに差し込みます。
2. カチッという音がし、マイクが固定されます。
※マイクのネジ位置とマイク脱着ボタン位置をあわせて差し込んでください。(右図参照)

＜マイク取り外し方法＞

マイク脱着ボタンを押しながらマイクを上方に引き抜きます。
マイクはコネクタの根元を持ってください。

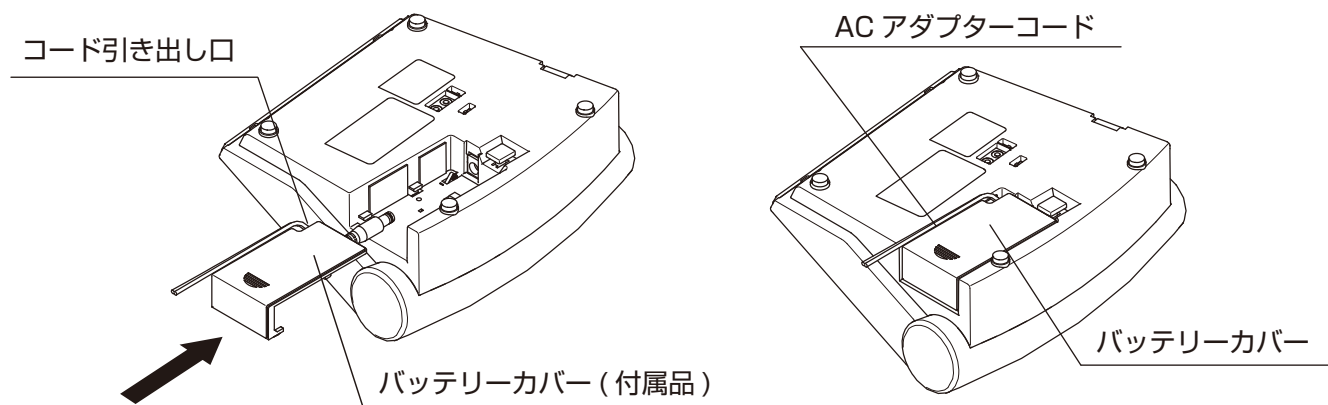
1.5. バッテリー（別売）、バッテリーカバーの取り付け、取り外し方法

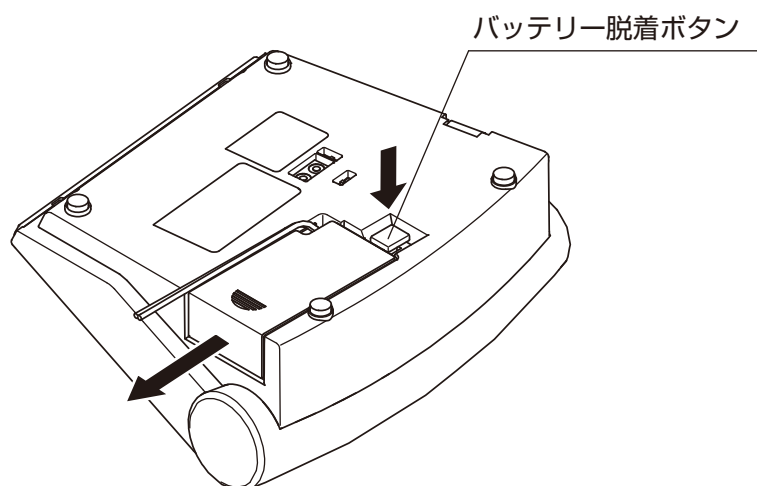
※バッテリーの取り付け、取り外し時はバッテリーの落下にご注意ください。

＜バッテリー取り付け方法＞

1. バッテリーを会議マイクユニット下方から差し込みます。
2. そのまま矢印の方向にスライドさせるとバッテリーが固定されます。
   ※カチッと音がして、バッテリーが確実に装着されたことを確認してください。

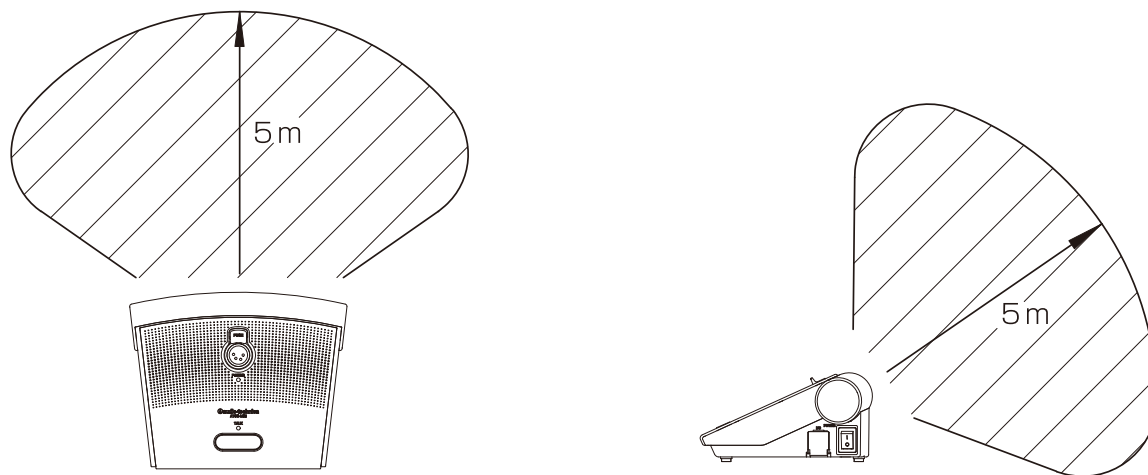
＜バッテリー取り外し方法＞

バッテリー脱着ボタンを押しながら、バッテリーを矢印の方向にスライドさせて引き抜きます。

AC アダプター (別売) をご使用になる場合は、バッテリーカバー (付属品) を取り付けてください。

<バッテリーカバー取り付け方法>

バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせます。
※AC アダプターのコードはコード引き出し口から引き出してください。
※バッテリーカバー取り付け時にコードを挟まないようにしてください。
断線の原因になります。

<バッテリーカバー取り外し方法>

バッテリー脱着ボタンを押しながら、バッテリーカバーを矢印の方向に引き抜きます。

1.6. マイクユニットの赤外線到達範囲 (イメージ)

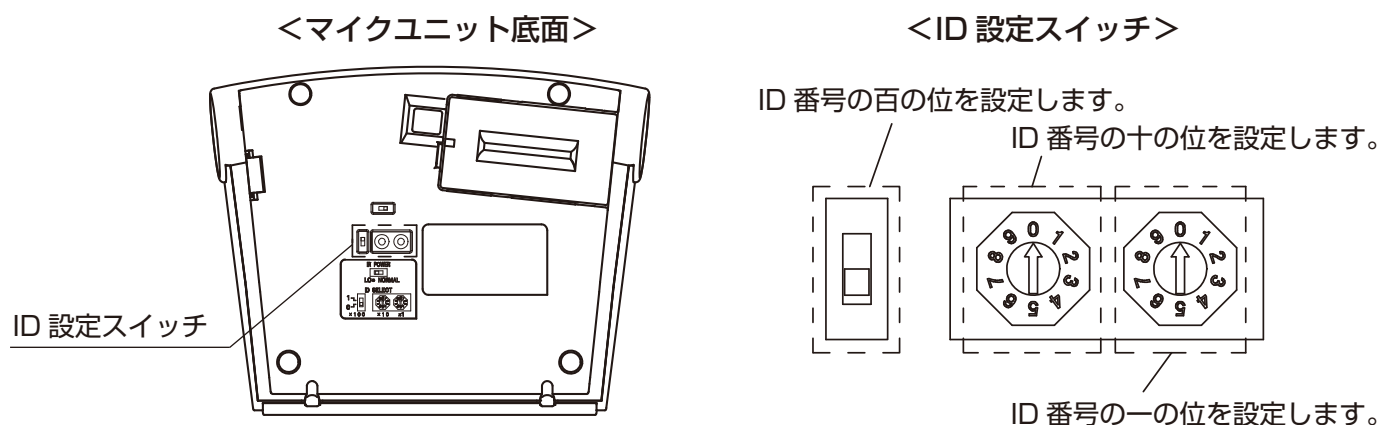
※受発光ユニット ATCS-A60 使用時

1.7. ID 番号 (識別番号) の設定方法

※ID 番号の設定時はマイクユニットの電源を切ってください。

※ID 番号は [001] ～ [188] の間で設定してください。

【例】50 台の場合、[001] ～ [050] に設定します。同じ ID があるとシステムが正常に動作しません。

※ID 番号の設定にはミニドライバー (マスターコントロールユニットに付属) をご使用ください。

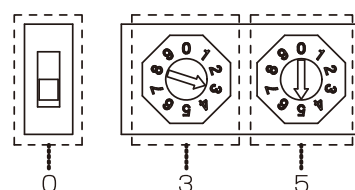
＜マイクユニット底面＞

＜ID 設定スイッチ＞

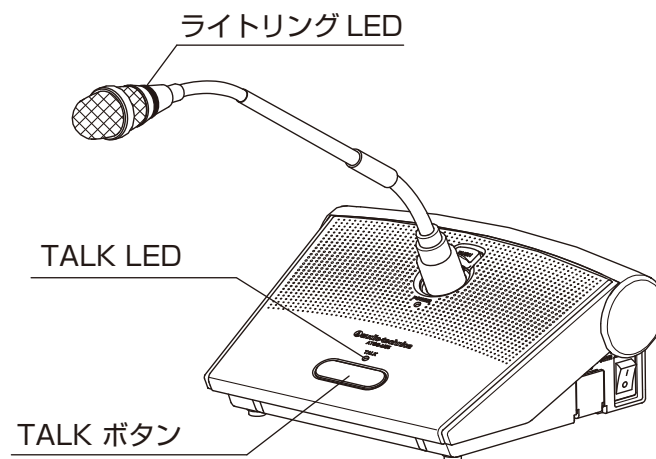
1. マイクユニット底面に ID 設定スイッチがあります。
2. ミニドライバーを使って、ID 番号を設定します。(下記設定例参照)

百の位・・・ID 設定スイッチの一番左のスライドスイッチを上にすると 1、
下にすると 0 に設定されます。

十の位・・・ミニドライバーを使ってロータリースイッチ中央の矢印を回転させます。
矢印の指し示す数字 (0 ～ 9) が設定されます。

一の位・・・ミニドライバーを使ってロータリースイッチ中央の矢印を回転させます。
矢印の指し示す数字 (0 ～ 9) が設定されます。

【設定例】ID 番号を [035] に設定する場合
ID 設定スイッチは、右図のようになります。

2. 操作方法

※システム全体の操作方法については、ATCS-60 取扱説明書をご覧ください。

参加者用マイクからの発言

1.TALK(発言) ボタンを押して発言します。
2. ライトリング LED ならびに TALK(発言)LED が点灯し、発言可能となります。
3.TALK(発言) ボタンを押して発言を終了します。
※先押し優先に設定されていると、設定人数になるまで発言許可され、設定人数を超えると
発言待ちになります。
※発言待ちの場合、ライトリング LED ならびに TALK(発言)LED が点滅します。
発言待ち人数は 10 人まで可能です。
※後押し優先に設定されていると、発言要求が設定人数を超えると、発言者のうち最初に
発言許可されたマイクの発言が終了し、後から発言要求を行なったマイクの発言が可能になります。

議長マイクからの一括終了

プライオリティ人数を設定している会議で、議長 (ID001) のマイクユニットの TALK(発言) ボタンを
長押し (2 秒以上) すると、議長以外のマイクユニットの発言・要求を一括終了させることができます。

1. 一括終了と発言禁止
1.1. 議長マイクユニットの TALK(発言) ボタンを長押ししてください。
1.2. 議長マイクユニットが、発言状態になります。
1.3. 議長以外のすべてのマイクユニットの発言・発言待ち状態が終了します。
1.4. 議長は、TALK(発言) ボタンを長押ししている間は、他のマイクユニットの発言を
禁止することができます。

2. 発言許可
2.1. 議長マイクユニットの TALK(発言) ボタンから手を離してください。
2.2. すべてのマイクの発言が許可されます。

3. テクニカルデータ

3.1. マイクユニット (ATCS-M65)

a. 通信方式	：赤外線コードレス方式
b. 使用周波数帯域	：1 ～ 10MH z
c. 変調方式	：周波数変調
d. 赤外線波長	：870nm
e. 到達距離	：約 5m(発光強度切換スイッチ NORMAL/ATCS-A60 使用時) 約 4m(発光強度切換スイッチ LO/ATCS-A60 使用時)
f. 入力　マイク接続端子	：XLR-4P(メス)
g. 外部制御接続端子	：MINI-DIN コネクタ　9P(メス)
h. 使用温度範囲	：0℃～ +40℃
i. 電源	：DC7.4V　2200mAh 専用リチウムイオン電池 (LI-240a　別売) または、DC12V 1A AC アダプター (別売)
j. 連続使用時間 (専用バッテリー使用時)	：NORMAL 送信 ＝ 約 8 時間 LO 送信 ＝ 約 10 時間 待機状態(発言なし) ＝ 約 25 時間 (バッテリーの使用状況、充電状態により変わります)
k. 外形寸法	：W187×D149×H75.5mm
l. 重量	：520g(マイク、バッテリー含まず)
m. 付属品	：バッテリーカバー　1 個

3.2. 専用バッテリー (別売)

リチウムイオンバッテリー LI-240a（DC7.4V　2200mAh)

3.3. 専用 AC アダプター (別売)

DC12V　1A

3.4. 専用マイクロホン (別売)

ATCS-60MIC

全長：430mm

外形：Φ24

重量：115g

指向性：ハイパーカーディオイド

4. 故障かな？と思ったら

4.1. 基本的な確認

どんな状態ですか?	ここをチェック	対処方法
マイクユニットの電源が入らない。	・バッテリーは充電されていますか?	・出荷時は充電されていません。 充電してからご使用ください。
マイクユニットのボタン操作ができない。 または、パソコンからマイクユニットの操作ができない。	・ID番号は確実に設定されていますか? ・太陽光、または、スポットライトが当たっていませんか? ・マイクユニットと受発光ユニットとの間に障害物はありませんか? ・マイクユニットと受発光ユニットの距離が5m 以上離れていませんか？ ※距離は室内の状況によって変化します。 ・受発光ユニットの動作確認 LED が点灯していますか?	・ID 番号を [001] ～ [188] で設定してください。 ・太陽光、スポットライトが当たらないように設置してください。 ・直視可能な場所に設置してください。 ・到達距離範囲内でご使用ください。（P12 参照） ・マスターコントロールユニットと受発光ユニットのケーブルを正しく接続してください。
マイクユニットのバッテリー使用時間が短い。	――――	・バッテリー寿命です。(※1) 新しいバッテリーをご購入ください。

※1）バッテリー寿命は約 300 回の充電が目安です。

4.2. 赤外線送受信の確認方法

マイクユニットの ID 番号を表のように設定することでマスターコントロールユニットの受信状態を確認することができます。

マイクユニットの設定 ID	マスターコントロールユニットの状態
191	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [A] が点灯し、マイク音声を出力します。
192	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [B] が点灯し、マイク音声を出力します。
193	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [C] が点灯し、マイク音声を出力します。
194	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [D] が点灯し、マイク音声を出力します。
195	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [E] が点灯し、マイク音声を出力します。
196	マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED [DATA] が点灯します。

1. マスターコントロールユニット正面パネルの THRESHOLD 設定を 0、HOLD 設定を 0、TEST モード設定を 2 にし、マスターコントロールユニットの電源を入れ直します。
   マイクユニットの ID 番号を [191] に設定し、電源を入れます。
   音声信号受信 LED[A] が点灯し、マイクの音声が出力されることを確認してください。

2. 次に、一旦マイクユニットの電源を切り、マイクユニットの ID 番号 [192] ～ [196] に設定してから再度電源を入れます。マスターコントロールユニット正面パネルの音声信号受信 LED の ID 番号に対応した [B] ～ [E] が点灯し、音声が出力されることを確認してください。(上表参照)
   ただし、ID 番号 [196] は [DATA] が点灯するだけで、音声は出力されません。

※音声が出力されなかったり、マスターコントロールユニット正面パネルの表示が点灯しない、または、ちらついたりする場合には、正常に動作しない場合があります。

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または弊社営業所まで
お問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ
プロオーディオ営業部　プロフェッショナル SS 課

[東京]　〒113-8525 東京都文京区湯島 1-8-3 テクニカハウス
TEL 03 (6801) 2010 FAX 03 (6801) 2019

[大阪]　〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 13F
TEL 06 (6399) 2877 FAX 06 (6395) 5475

[福岡]　〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-1 アバンダント 95 ビル 3F
TEL 092 (412) 6950 FAX 092 (461) 2360

http://www.audio-technica.co.jp/proaudio